

## 図書館だより

## 目次

就任のご挨拶と就任後の図書館活動について (自己紹介をかねて) ……	1
「映画・ドラマが何倍も楽しくなる本」 考えるための教員推薦図書 ……	2～4
インフォメーション ……	4

## 就任のご挨拶と就任後の図書館活動について (自己紹介をかねて)

青柳 隆志 (図書館長・国際学部 国際学科教授)



本来であれば、2022年最初の「図書館だより」でご挨拶申し上げるべきところ、大変遅くなり申し訳ございません。2022年4月に今仲前館長より館長職を承継いたしました青柳隆志と申します。1989年に短期大学国文科に奉職以来、人文学部日本語日本文化学科を経て、人文学部の募集停止・廃止に伴い、本年より国際学部国際学科に移籍致しました。専門分野は日本古典文学(特に歌謡)であり、かつては母校の図書館の集密書庫が棲み処のようでありました。趣味は、岩波文庫の戦前版の蒐集で、現時点で750冊あり、目録上はほぼ網羅できていると思います。ただ全部読んでいるかといえば少々怪しいところもあります。

自分の出自にも関心があります。青柳家は代々続く家柄というわけではありませんが、父の出自をたどっていくうちに、群馬県高崎市に辿り着きました。国指定史跡となっている高崎市箕郷(みさと)町の箕輪城は、名族長野一族の居城であり、武田信玄の度重なる攻撃に遭って、永禄9年(1566)9月27日に落城、当主長野業盛は自刃、多くの家臣も最期を共にしましたが、その中で、数に優る武田軍を相手に度々逆襲をかけ、一矢を報いた武将として、青柳金丸忠家の名があります。忠家は現在も前橋市に残る青柳の地(勢田郡青柳村)を本居としていましたが、長野家に仕え「十二家客分大身小身知行持衆」の一人に数えられています。支城高浜城に迫った武田の武将那波無理之助の軍勢を追い散らしたのが青柳忠家(金丸)でありました。忠家は、これも支城の一つ下芝砦(または、三つ子砦)に拠り、忠家の子民部が居城したとも言われますが、他方、この下芝(柴)砦には、後に柳生新影流の鼻祖として柳生宗厳らを輩出した剣聖、上泉伊勢守(信綱)が拠ったという記録もあります。忠家の墓は、箕郷町白川の曹洞宗大嶽山検点院滝沢寺にあります。

私の祖父青柳虎三郎は、その箕郷町下芝(当時は箕輪町下芝)で生まれ、昭和の初めに東京浅草の田原町に出て所帯を持ちました。下芝・上芝のあたりには、今でも青柳姓の家が多くあるようです。虎三郎の長兄は「忠多」といいますが、これなどもあるいは、忠家の名にあやかっただけのものかも知れません。

閑話休題(あだしごとはさておき)、図書館長としての活動は、今仲前館長より引き継ぎました。図書館長賞の運営と学生による選書ツアー、ラーニングコモンズの活用について考えているところですが、2022年に十条台に全学部がそろい、卒業論文が必修になったことから、もっと利用者数や利用冊数が増えてもしかるべきだと思います。HPでのPR発信やOPACの充実を含めて、さらにできることはないか考えてゆきたいと思います。

いよいよ大学開学30周年を迎え、学園創立100周年を3年後に控えたなか「グローバル人材」の育成に向けて図書館ができることは何か、皆様のお知恵を拝借いたしたく存じます。

名のある大学図書館には、それぞれ特徴あるコレクションがあるものです。本学図書館には、諸橋轍次『大漢和辞典』の編者のお一人で、短期大学副学長であられた故鎌田正先生(1911-2008)の蔵書約3000冊が寄贈されており「東陵文庫」と名付けられています。2003年には図書館名で『東陵文庫目録』が公刊されています。鎌田先生は宮内庁から特に選ばれて敬宮愛子内親王さまの名付けをなさいました。わたくしも短期大学国文科奉職中には、茗溪の誼みもあり、大変お世話になりました。そのことを思うと、先生のコレクションを蔵する図書館長の任にあることをすこぶる誇りとしたものであります。這間の事情につきましては、『東京成徳短期大学紀要』40号(2007年)所載の川島絹江氏「東陵文庫本『春秋経伝集解』について」をご覧ください。

[https://www.tsu.ac.jp/media/bulletin40\\_12.pdf](https://www.tsu.ac.jp/media/bulletin40_12.pdf)



# 「映画・ドラマが何倍も楽しくなる本」考えるための教員推薦図書



“映画やドラマを見るときにこういう知識があると何倍も楽しく見られる”という本を「映画・ドラマが何倍も楽しくなる本」をテーマに先生方に興味深い本をご紹介します。本学図書館で借りることができますので、先生方のお話に興味を惹かれるものがありましたら、是非、手に取って読んでみてください。

子ども学部 子ども学科 増田有紀 准教授 推薦

## （映画の紹介）

・2005年（日本）「博士の愛した数式」監督：小泉堯史，主演：寺尾聰

新学期を迎えた中学校のあるクラス。最初の授業で、ルートと名乗った数学教師が自己紹介を始めました。自分がなぜルートと呼ばれたのか、どうして数学を好きになり教壇に立つようになったのかと、話は子どものころに遡るところから映画は始まります。

家政婦として働くシングル・マザーの杏子（深津絵里）が、お世話をするようになったのは、64歳の数学博士。ケンブリッジ大学で数学の博士号を取得した後に、日本で大学教授として働いていましたが、17年前に交通事故に遭い、その後遺症で記憶が80分しかもたなくなってしまう。杏子は、毎朝自己紹介をして、同じ質問を博士から受けることから始まる生活に戸惑うものの、博士の優しさの実直さ、一瞬一瞬を誠実に生きる純真さに親しみを持つようになっていきます。

やがて、「子どもは一人にしてはいけない」という博士の意見により、杏子の10歳の息子も一緒に過ごすようになります。博士が愛しているものは、数学、子ども、そして阪神タイガース。息子は、博士から「ルート」というあだ名で呼ばれながら、野球を通して博士とつながっていきます。

3人の幸せな時間はあっという間に過ぎ、別れが突然訪れます。博士の記憶時間は短くなり始めてしまい、ついに施設に入れられることになったのです。杏子とルートは時間を見つけては博士に会いに行きました。そして時は流れ、博士が亡くなる前の最後の訪問。ルートは22歳。博士の影響で数学の道に進んでいました。そして、中学校の数学の教員試験に受かったことを博士に報告するところで映画は幕を閉じます。



請求記号：D / 八  
資料 ID：4004721



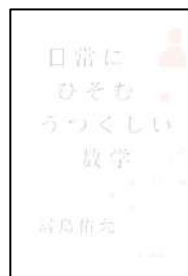
請求記号：913.6/Oga  
資料 ID：901082602

## （図書の紹介）

・「日常にひそむつくしい数学」著者：富島佑允，出版社：朝日新聞出版

さて、「博士の愛した数式」では、杏子と博士が数学の話を交わすシーンが多くあります。その中でも最も多く登場する数学用語は「素数」です。素数とは、1と自分以外では割れない自然数のことですが、面白い性質を多く持ち合わせている数といわれています。

「数」や「数学」と聞くとあまり身近に感じることができないかもしれませんが、私たちの日常は不思議なほど数や数学の法則で動いています。例えば、アメリカ合衆国に生息するセミ「素数ゼミ」は、必ずぴったり13年または17年の周期で地上に出てきて羽化し、成虫になります。なぜ13年または17年なのでしょう。実は、種の繁栄のためには、2つのタイミングがなるべく長く重ならない周期同士である必要があります。つまり、13と17のように素数同士であれば、共通する部分がないため、羽化する周期が重ならず済むわけ（13と17の最小公倍数は221なので、2つの周期が重なるのは221年に1度です）。このようにして、「素数ゼミ」は生き残ってきたのです。



請求記号：410.4/Tom  
資料 ID：90118279



\* \* \* 図書館にある数学関連の本 \* \* \*

数学が好きになる数の物語 100話 / コリン・スチュアート 著 ニュートンプレス  
請求記号：410.4/Stu 資料 ID：901122001

つれづれなる数学日記 / 鯉坂もっちよ 著 KADOKAWA  
請求記号：410.4/Azi 資料 ID：901123237

なるほど!毎日の役立つ数学/ 近藤宏樹 著 さくら舎  
請求記号：410.4/Kon 資料 ID：90118867





# 「映画・ドラマが何倍も楽しくなる本」考えるための教員推薦図書



経営学部 経営学科 中井雄一郎 准教授 推薦

## 「教養として知っておきたい 博物館の世界」 ： 学び直しに活かせる新しい鑑賞術と厳選 20 館」 著者：栗原祐司 出版社：誠文堂新光社



請求記号：069/Kur  
資料 ID：901121044

あなたが最近、美術館・博物館を訪れたのはいつ頃の事でしょうか？

最近 Covid-19 の影響も一段落し、街には海外からの旅行者（インバウンド）が多くみられるようになってきました。彼らの多くが、日本の観光地のみならず、美術館・博物館を訪れ、かつての賑わいを取り戻しつつあるように思えます。

それでは、海外の方がごぞって訪れる日本の美術館・博物館に、皆さんは足を運ぶ事はありますか？ 東京周辺には、素晴らしい美術館・博物館がありますよ！

海外の映画を観ると、美術館・博物館が多数登場します。「歴史的な XXX」が盗難にあった、それは何故か？ というようなミステリアスな冒頭シーンで、様々な世界的な美術館・博物館が舞台となる為、皆さんにしてみると日本の美術館・博物館よりも、ルーブル美術館を知っている方が多いかもしれませんね。

私の好きな映画に娯楽物の「ナイトミュージアム」、サスペンスものの「ダビンチ・コード」という映画があります。前者は NY の「アメリカ自然史博物館」、後者はパリの「ルーブル美術館」が舞台の映画です。なお、後者のシリーズについては、映画化されたもののみならず、原作もお勧めです。単純に映画のストーリーを楽しむ事も良いですが、美術館・博物館の世界を裏方側から見ると、また異なる視点から、楽しむ事が出来るように思います。

そのような理由から、今回、お勧めしたいのは、「教養として知っておきたい 博物館の世界：学び直しに活かせる新しい鑑賞術と厳選 20 館」という本です。

難しい本ではなく、日本にある素晴らしい博物館を紹介する本になりますので、図書館で気軽に手に取って欲しい本となります。日本はあまり、美術館・博物館が舞台となる映画やドラマが少ないのですが、文化的な背景を理解すると、映画を楽しむ事のみならず様々な分野について考えるのに役に立ちますのでお勧めです。

私は今までに、海外の国々を 50 か国近く訪れました。その際、ほとんど必ず、現地の美術館・博物館を訪れるようにしています。それは、その国の文化に触れるのに、非常に良い機会と考えているからです。海外の街を訪れると、建物・人・服装・食べ物・言語・習慣から、現地の匂い等も含めて、色々な異文化を肌で感じる事が可能です。これは画面の中の動画では決して、伝わらない生身の文化です。

他方で、美術館・博物館に収蔵される絵画や遺跡等は、ちょっと敷居が高いように思えるし、高尚なものに思えるかもしれません。しかし皆さんには、今の知識で意味が分からないものの存在に触れて欲しいのです。意義・背景は興味があれば、事後、自分で調べるものです。まずは、訪れる事から始めましょう。

この夏、身近な美術館・博物館を訪れてはいかがでしょうか？



### \* \* \* 図書館にある博物館関連の本 \* \* \*

博物館のバックヤードを探検しよう！ / DK 社 編 河出書房新社  
請求記号：069/Hak 資料 ID：901122542

博物館ななめ歩き / 久世番子 著 文藝春秋  
請求記号：069.021/Kuz 資料 ID：903019245

東京のミュージアム 100 / 芸術新潮編集部 編 新潮社  
請求記号：706.9/Gei 資料 ID：903019398







# 「映画・ドラマが何倍も楽しくなる本」考えるための教員推薦図書



短期大学 幼児教育科 杉本 亜鈴 准教授 推薦

『怖い絵』1・2・3 著者：中野京子 出版社：朝日出版社

学生のみなさんは、古い時代の絵画を観て「なんでこんなものがここに描かれているのだろうか？」と疑問に思ったり、なんとなく不気味で「怖い！」「気持ち悪〜い！」と思ったりしたことがあるのではないのでしょうか。



請求記号：723/Nak  
資料 ID：901100807



請求記号：723/Nak||2  
資料 ID：901101339



請求記号：723/Nak||3  
資料 ID：901101340

今回ご紹介するのは中野京子さんの『怖い絵』シリーズです。この本の面白いところは「怖い」というキーワードでさまざまな時代や様式の違う絵画作品を紹介しているところです。また、著者の中野京子さんはドイツ文学・西洋文化史が専門で、画家や美術家ではないため、鑑賞者（絵を見る側）の素直なワクワク・ドキドキが伝わってくる文章の共感性が高く、学生にとって魅力であると感じて推薦します。

映画やドラマでも、特定の意味を持つモチーフがストーリーの初めの方で登場したり、劇中で繰り返し登場したりすることによって、絵画的なオマージュとして表現されていることがあります。いまで言う、いわゆる「フラグ」「匂わせ」のような感じでしょうか。例えば、「十字架」や「十字型の構図」がたびたび登場する場合には、主人公のその後の受難を表現していたり、画面の片隅に「テーブルの上に伏せた状態のコップが置いてある」と、それは「空虚」を意味し、人生の虚しさを表現していたりするということが分かるわけです。

もっと直接的に、絵画をテーマとした映画では『ダ・ビンチコード』のシリーズが有名ですね。図像学・図像解釈学による「ナゾトキ」が魅力で、ダン・ブラウンさんの原作小説も読みやすいので、ぜひお手に取ってみてください。

どの分野においても「知識」は専門分野の扉を開く秘密の鍵であり、大学生活においては「識っていることではじめて解る」というよろこびをできるだけたくさん体験して欲しいと願っています。どの学部・学科の学生さんも、これまで授業を通して「そうだったのか〜！」と発見したり納得したりする機会があったのではないかと思います。実はそれがとても大切で、大学における体系的な学びの意義がそこに隠されているのです。



\* \* \* 図書館にある絵画関連の本 \* \* \*

ダ・ヴィンチ絵画の謎 / 斎藤泰弘 著 中央公論新社  
請求記号：723.37/Sai 資料 ID：901112491



## Information

■ 開館スケジュール \*変更される場合があります。HPや掲示板をご確認ください。

9:00~20:00							9:00~14:00							休館						
<b>9 月</b>							<b>10 月</b>							<b>11 月</b>						
月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
				1	2	3							1			1	2	3	4	5
4	5	6	7	8	9	10	2	3	4	5	6	7	8	6	7	8	9	10	11	12
11	12	13	14	15	16	17	9	10	11	12	13	14	15	13	14	15	16	17	18	19
18	19	20	21	22	23	24	16	17	18	19	20	21	22	20	21	22	23	24	25	26
25	26	27	28	29	30		23	24	25	26	27	28	29	27	28	29	30			
							30	31												

東京成徳大学・東京成徳短期大学図書館

<https://tokyoseitoku-opac.limedia.rioh.co.jp/drupal/>

〒114-0033 東京都北区十条台 1-7-13

Tel：03-3908-3529

Fax：03-3908-4549

E-mail：library@tsc.ac.jp

